



# SHIBUYA KAIGO TIMES Vol.8

<12月19日開催>  
「対応困難事例に挑む」

-複雑化・複合化した問題を解きほぐす力を養う-

## 第10回 SHIBUYA かいごセミナーを開催!

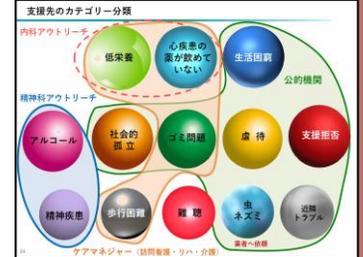
12月19日にケアマネジャー向け研修として、「対応困難事例に挑む-複雑化・複合化した問題を解きほぐす力を養う-」をテーマに研修を開催しました!

35名にご参加をいただき、ゴミ屋敷、支援拒否、セルフネグレクトなど様々な問題が絡み合った対応困難事例について、どう支援していくのか、事例やグループワークでの議論を交えながら考える機会となりました。

タイムリーに困難事例の支援に挑まれている受講生もいらっしやり、渋谷区での対応も学ぶことができ、またチームで解決していくことの重要性を改めて考えさせられた研修でした。

SHIBUYAかいごセミナーでは今後も現場に役立つ研修・セミナーを開催しますので、ぜひご参加ください!

### <研修資料抜粋>



セルフ・ネグレクトと死亡リスク

内閣府の調査によれば、セルフネグレクトではない高齢者と比較して

1年以内の死リスクは **5.82倍**

高いと言われている

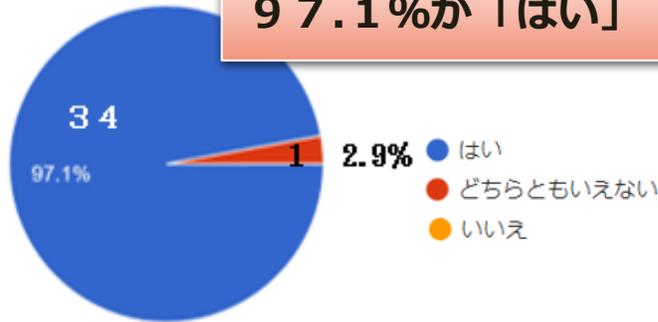
セルフネグレクトは、緩やかな自殺と考える価値観もある

## 研修後アンケート結果 (参加者35名)

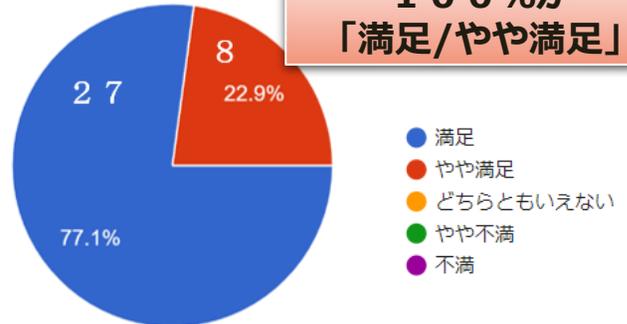
・研修の内容は業務に活かせるものでしたか?

・研修の満足度を教えてください

97.1%が「はい」!



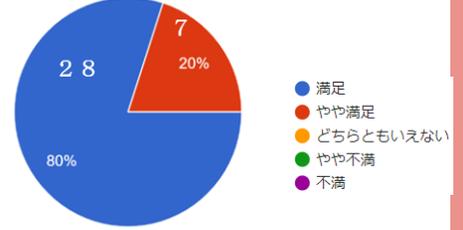
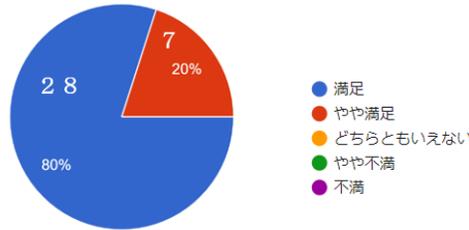
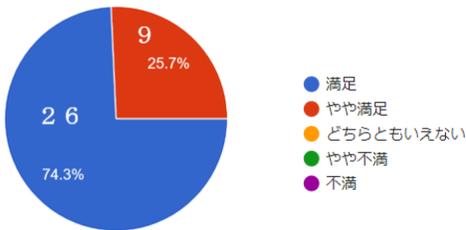
100%が「満足/やや満足」



・研修内容: 100%が「満足/やや満足」

・研修資料: 100%が「満足/やや満足」

・講師: 100%が「満足/やや満足」



アンケート回答より、ご受講いただいた方々のご意見を紹介します!

### Q.研修を受けて今後取り組んでいきたいこと

- ・支援困難ケースに取り組む際はチームとして取り組み、定期的なモニタリングの会議も必要だと認識しました。
- ・困難ケースとして対応している件を再アセスメント。
- ・困難事例の解決に向けて今まで以上に連携する。
- ・困難事例に対し後ろ向きではなく、前向きに取り組むようにしたい